

第6回名張市立病院改革検討委員会議事録

平成21年8月3日(月)

午後1時～

名張市介護老人保健施設

「ゆりの里」多目的ホール

<出席者>

○名張市立病院改革検討委員会委員（50音順）

	所属機関	役職	氏名
福祉関係者	名張市社会福祉協議会	会長	石井 洋子
学識経験者	皇學館大學社会福祉学部	准教授	岩崎 利彦
学識経験者	松阪厚生病院	医事課長	千馬 徹
市民代表	名張市民生委員・児童委員協議会連合会	会長	東尾 貢
市民代表	金つなぎの会	代表	廣野 光子
地域医療関係者	名賀医師会	副会長	矢倉 政則
名張市職員	名張市健康福祉部	保健センター長	筒井 美智

○名張市立病院

伊藤院長、前川副院長兼看護部長、岩本副院長、中野事務局長、菅生総務医事室長、岩名業務室長、山下総務経営担当副室長

<会議内容>

1. 議事

(1) 名張市立病院改革プラン実施計画の策定について（菅生総務医事室長説明）

◎協議内容

I. 市民に信頼される安心・安全の病院づくり

○委員

クリニカルパスのPR等はどうか。一般の市民はわかりやすく説明してほしいという意見が多い。

○事務局

現在、クリニカルパスを使っている病棟もある。クリニカルパスを導入することにより医療コスト削減や医療の標準化ができることから積極的な導入を図っていきたい。

○委員

病院のIT化というコストがかかるが、目標数値なしに効果額がマイナスとはどういうことか。

○事務局

投資ということであるので、費用が発生するため目標効果額のみがマイナスという表記になっている。しかし、将来的に病院経営にとってはプラスとして返ってくる。

○委員

小児医療の整備・充実のところで小児患者救急搬送件数が平成21年度から平成23年度まで今後、子供が増えていくことがないのに目標数値が増加している。現在、救急輪番を3病院で行っているが救急輪番日以外にも全て引き受けていくと考えていいのか。また、脳、心臓疾患の高度二次医療サービスの提供の項であるが目標数値は年度ごとに増加しているのに目標効果額は患者数が増えても医療収入の効果額は0とみているのか。

○事務局

3ページの入院稼働率の向上の項で循環器内科の医師も含めて統計上、内科医師のところに含めた方が、統計上より正確な数値が把握できるので合算して目標数値及び目標効果額を表記している。また、小児救急については非常にむずかしい目標設定であるが、医師の増加に伴って診療できる可能な患者数を表記している。

○事務局

医師を増員すれば、小児の救急診療日が増やせるのではないかと考えている。今、関西医大のほうにお願いして医師の確保の努力をしているところである。

○委員

市民からすれば名張市立病院でかなりの部分の救急医療に対応してもらえると期待していると理解している。次に小児医療センターについては伊賀地域全体で考えていると思うが医師が増えればこういう形でできるのかももう少し具体的に聞きたい。

○事務局

小児救急は輪番とは別になっている状況なので、伊賀地域や名張市における小児医療センターがどうあるべきなのか伊賀とも協議しなければならないし、名張市においても行政側と病院側が検討しなければならない。市長が言っているように療育センターなり医療センターを立ち上げていく方向にある。内容については院内で協議中であるので具体的にになった時点で委員会にご報告申し上げたい。

○委員

小児医療センターという方向付けの中で、現在のところ注目されているので、早い目にこれをPRして、名張市のセールスポイントとして進めていただきたい。

○委員

5年後、10年後では意味がない。平成23年度の目標設定があるので具体的に進めていただきたい。

○事務局

については、予算面もあるが関西医大なりの医師が確保できるよう院長以下、相手の医局とも協議していきたい。

II. 地域医療機関との連携強化

(※特に意見なし)

Ⅲ. 効率的な病院経営

○委員

糖尿病外来をお願いしていて、割と否定的な意見が多かったが、今回 41 番の糖尿病患者の教育入院の実施として表記していただいたのは進歩である。参考までに、上野市民病院には糖尿病外来は設置されているか。

○事務局

現在、糖尿病を専門にしている医師はいない。消化器内科や循環器内科で糖尿病外来を担う時間が他業務に追われ時間がないのが現状である。

○委員

「新たな診療報酬加算項目の取得を推進」の項の 56 番と 57 番であるが 7:1 の看護体制の中身が大事であり、医療サービスの中で 10:1 との変化の中で目に見える形で対応してもらわなくては一般の人には分からないので十分押えておいてほしい。また、「診療報酬請求漏れの低減」の項の 59 番から 61 番は今後、何らかの数値を入れていただくよう検討いただきたい。

○委員

「医薬品、診療材料の削減」の項 65 番から 67 番について、医薬品の購入について共同購入の方向も検討いただいていると思うが削減効果が期待できるのであえて補足したい。

Ⅳ. 働きがいのある病院づくり

○委員

「非常勤医師の確保」の 76 番の中で常勤以外に非常勤を 4 名ないし 5 名この人数を確保するのか。

○事務局

非常勤はまったく別である。

○事務局

現在、輪番当番日には基本的には常勤医師が対応しているが、どうしても過重な負担となるところから各方面から応援の非常勤医師をお願いして、必要とあればお越しただける人数を表記している。ほとんど土日に応援いただいている医師の人数である。

○事務局

この表には入っていないが、別に外来や手術にも非常勤医師が勤務いただいている。

○委員

5 ページの「業務経営の実態に沿った人材確保等」の項の 79 番から 82 番については数値が表記できるのではないかと考える。

○事務局

今回、表記している数値はより実効可能な数値として掲げている。数値が入っていないところは相乗効果として表れてくる額の中に含まれているという考えであるが、今後に行うについて目標をきちんと決めて表せるところは数値を表記したい。

○委員

全体にかかわる指摘事項はないか。

○委員

何でも IT 化を進めるということは私は反対である。ソフトを入れれば多くの人員がデ

ータ入力に膨大な時間を割かれ職員の仕事が増える。ホストコンピューターを導入し色々な拠点病院のネットワークを築くというのであればITの効果はあると思うが。そのあたりを市立病院においてメリット、デメリットを考えていただきたい。

○事務局

病院のコンピューターは来年度に更新の時期にきているので、新たに別のものを導入するというではない。

○事務局

200床の病院でどこまでIT化を進めるのか大変重要なことである。オーダリングなりシステムを導入していくことは費用対効果を考えねばならない。来年度は更新時期にきていて経営状況を踏まえながら色々な付加価値を考えたい。

○委員

私の個人的見解であるが、今の流れとして早くネットワーク化することにより医療全体のコストが下がるし、名張市全体のコスト削減につながると思う。

○委員

「市民の健康増進のバックアップ」の項の13番の検診受信者の増加（一泊ドック）で平成20年度の実績数値に対して平成21年度の目標数値は下落しているのはどうしてか。

○事務局

今現在人間ドックに取り組ませていただいているのは三重県公立学校共済と三重県市町村職員共済組合の契約分のみであり、平成21年度は契約の予約件数の実数のみ表記しているのでマイナスとなっている。平成22年度以降は契約者のみに限らず範囲を広げていくため数値は増加している。

○委員

人間ドック検診受診者増ということで専門の医師や看護師の増加は表の中で表れていない。他の項目では表記しているが。

○事務局

人間ドックの増加という病院経営改善の方策があるが、一次医療・二次医療の連携も踏まえて一次医療でできない検診を担当するという視点で、今ある資源で実施し人員や機器を増やしてまで人間ドックを実施することは考えていない。

○委員

ITを進める中で電子レセプト導入だけで3,000万円というのはいかかなものかという考えもある。20番のDPCの導入検討については目標数値のところは検討ばかりになっているがこれはエンドレスの検討なのか。

○事務局

包括評価による定額払いは現時点では検討としか書かざるを得ない状況にあるということをご理解いただきたい。

○委員

43番の薬剤管理指導件数の増加であるが、平成20年度の実績は382件から最終的に目標数値は平成23年度は1,000件まで増加するようだが現在の薬剤師の人数で入院の状態やその他業務をやりながらこの数値は可能なのか。

○事務局

現在 7 名の薬剤師がいるが、私見としては可能だと考えている。ただ退職者があれば考えねばならない。

○事務局

現在の業務が閑散ということではなく、業務の見直しも含めて過去にこれぐらいの実績があるので目標として表記した。

○委員

76 番の非常勤の時間外救急対応医師の確保の数値は 9 番の非常勤医師の確保の数値を含んでいるのか。

○事務局

1 ページ目の 9 番は専門外来に来ていただく非常勤医師の人数であるということと、5 ページ目の 76 番は時間外の非常勤医師の人数ということで別々の数値であり、合わせた数値ではない。

○委員

76 番の非常勤の時間外救急対応医師の確保で 4 名から 5 名に増加しているが、これは頭数が増えるだけで延べの診療時間数が増えるものではないと理解していいか。

○事務局

その通りである。

(2) 今後の日程について

○事務局

本日、ご審議いただいた内容について今後、議会に報告させていただく。今後の委員会について、時期は未定であるが改革プラン実施計画の検証をお願いしたいので改めてご案内申し上げるのでよろしくをお願いしたい。

(3) その他

(※特になし)